

2005年5月30日

**アクサ生命、アクサ グループライフ生命
2004年度業績を発表
～力強い成長を実現し、大幅に増益～**

アクサ ジャパン ホールディング株式会社(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長 フィリップ・ドネ)の100%子会社であるアクサ生命保険株式会社およびアクサ グループライフ生命保険株式会社は、2005年5月30日、日本の会計基準に基づく2004年度(平成16年度)の業績を発表しました。

AXAの日本における生命保険事業部門である両社は、2004年度力強い成長と大幅な増益を実現しました。アクサ生命は純利益が対前年度210億円増の141億円、またアクサ グループライフ生命は同220億円増の611億円と、両社とも大幅な増益となりました。

個人保険・個人年金保険の新契約(2 社会算ベース、以下同様)は、年換算新契約保険料(ANP)¹⁾ベースで前年度比107.6%の701億円となりました。また解約・失効率は前年度の8.29%から1.69ポイント低下して6.60%と、さらに良化しました。その結果、保有契約高は前年度末比100.2%の145,502億円となりました。

主要収支項目では、保険料等収入が前年度比97.6%の6,360億円、保険金等支払金は前年度比77.1%の4,295億円。資産運用収益から資産運用費用を差し引いた資産運用収支は、対前年度302億円増の1,427億円となりました。

本業の収益力を示す基礎利益は、アクサ生命が136億円(前年度 88億円)、アクサ グループライフ生命が647億円(前年度640億円)、当期純利益はアクサ生命が141億円、アクサ グループライフ生命が611億円となりました。

2004年度末のソルベンシー・マージン比率は、アクサ生命が1,207.2%、アクサ グループライフ生命が870.2%と、十分なレベルを維持しています。また両社は、S&Pの保険財務力格付けで「AA-」、R&Iの保険金支払能力格付けで「AA-」の評価を受けており²⁾、強固な財務力を堅持しています。

アクサ ジャパン ホールディングの代表取締役社長、フィリップ・ドネは、次のようにコメントしています。「2004年度の業績は、過去2年間の取り組みの成果を証明する結果となった。アクサジャパンでは2003年から新戦略計画 Scrum Win 7 に取り組み、戦略的な優先課題に注力してきた。主要顧客基盤にフォーカスした新商品の投入によって新契約が伸展、顧客サービスプロセスの改善の成果として、解約・失効率も引き続き大きく良化した。また継続的に資産ポートフォリオの最適化を図り、運用収益も大幅に改善した。結果として2004年度、両子社ともに大幅な増益となった。2004年度にはまた、販売チャネルの再編成と強化を行い、損保など他の金融機関との新たな販売提携を行うなど、将来の更なる成長へ向けた基盤を強化した」。

またドネは今後の展開について次のように述べています。「今後さらなる成長を加速するために、2005年10月1日付けでアクサ生命とアクサ グループライフ生命の合併を決定した。経営のさらなる効率化とスピードアップを図る。新生“アクサ生命”は、AXA グループが世界で培った経験やノウハウを活かして革新的な商品・サービスを開発し、顧客セグメントにフォーカスした営業チャネルを通じて、顧客主導のフィナンシャル・プロテクションビジネスを展開していく」。

2004年度の主要業績は以下のとおりです。(基礎利益、純利益以外は2社合算ベース)

- 1) 個人保険・個人年金保険の年換算新契約保険料(ANP)は前年度比7.6%増の701億円
(個人保険・個人年金保険の新契約高は前年度比21.0%増の15,452億円)
- 2) 解約・失効率は6.60%と、前年度の8.29%から1.69ポイントの改善
- 3) 保険料等収入は前年度比2.4%減の6,360億円 (うち個人保険・個人年金保険の保険料収入は1.2%減の4,765億円)
- 4) 基礎利益、アクサ生命が136億円(前年度 88億円)、アクサ グループライフ生命が647億円(前年度640億円)
- 5) 純利益、アクサ生命が141億円(前年度 69億円)、アクサ グループライフ生命が611億円(前年度391億円)
- 6) 総資産は前年度比13.3%増の4兆4,996億円
- 7) ソルベンシー・マージン比率は、アクサ生命が1,207.2%、アクサ グループライフ生命が870.2%

注: ¹⁾ ANP(Annualized New Premium): 新契約保険料を年換算した合計額(一時払保険料は保険期間で按分)

²⁾ 格付けは2005年5月30日現在。S&P アウトルック: ネガティブ

会計基準について

日本の会計基準は、AXA グループが連結会計で採用しているフランスおよび米国の会計基準とは異なります。従って、本日発表された日本の会計基準での業績は、AXA グループの連結会計の数値とは異なります。

AXA グループについて

AXA グループは、フィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア・太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXA はパリ証券取引所に株式を上場、ニューヨーク証券取引所には米国預託株式(ADS)を上場しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。

2004年度主要業績
(アクサ生命およびアクサ グループライフ生命の業績を合算)

(1) 個人保険・個人年金保険の年換算新契約保険料

(単位：百万円、%)

	2004年度 2 社合計		前年同期比	2003年度 2 社合計	
ANP	70,151		107.6	65,219	

(注) ANP：新契約保険料を年換算した合計額（一時払保険料は保険期間で按分）

(2) 医療保障・生前給付保障等の保有契約の年換算保険料

(単位：百万円、%)

	2004年度末 2 社合計			2003年度末 2 社合計	
	AXA L	AXA GL	前年同期比	AXA L	AXA GL
年換算保険料 (保有契約)	142,194		—	—	
	62,164	80,029		—	—

(3) 保有契約高

(単位：億円、%)

	2004年度末 2 社合計			2003年度末 2 社合計	
	AXA L	AXA GL	前年同期比	AXA L	AXA GL
個人保険	128,467		100.9	127,327	
	64,658	63,808		55,561	71,765
個人年金保険	17,035		94.9	17,947	
	3,205	13,829		2,610	15,336
合計	145,502		100.2	145,274	
団体保険	91,361		90.6	100,845	
	—	91,361		—	100,845
団体年金保険	10,205		98.5	10,361	
	—	10,205		—	10,361

(注) 1.個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

2.団体年金保険については、責任準備金の金額です。

(4) 新契約高

(単位：億円、%)

区 分	2004年度 2 社合計			2003年度 2 社合計	
	AXA L	AXA GL	前年同期比	AXA L	AXA GL
個人保険	15,452			12,769	
個人年金保険	15,968	△ 516	121.0	14,266	△1,497
団体保険	166			517	
	—	166	32.2	—	517

(注)1. 個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。
2. 転換による純増を含む金額です。

(5) 解約・失効の状況

(単位：億円、%)

	2004年度 2 社合計	前年同期比	2003年度 2 社合計
解約・失効高	9,503	76.7	12,394
解約・失効率	6.60	1.69ポイント低下	8.29

(注) 解約・失効率は年始保有契約高に対する率で、復活契約高を失効契約高と相殺しないで算出しています。

(6) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

区 分	2004年度 2 社合計			2003年度 2 社合計	
	AXA L	AXA GL	前年同期比	AXA L	AXA GL
保険料等収入	636,041			651,742	
	298,634	337,406	97.6	284,670	367,072
資産運用収益	229,270			165,964	
	46,382	182,887	138.1	20,783	145,181
保険金等支払金	429,520			557,035	
	46,954	382,566	77.1	35,939	521,095
資産運用費用	86,544			53,509	
	16,228	70,316	161.7	5,997	47,511

(7) 総資産

(単位：百万円、%)

区 分	2004年度末 2 社合計			2003年度末 2 社合計	
	AXA L	AXA GL	前年同期比	AXA L	AXA GL
総 資 産	4,499,610			3,972,738	
	817,375	3,682,235	113.3	541,045	3,431,692